

せんだい GREEN アクションアワード表彰事業者「北整備 本社整備工場」



北整備 常務取締役の國分由明さん（左）、整備部営業係長の佐藤雄一さん（右）

株式会社北整備 本社整備工場は、社長自らが電力消費量や CO2 排出量の推移をグラフ化して社内に掲示することで従業員の省エネに対する意識向上を図るなど、社長を中心に会社全体で環境負荷の低減に取り組む姿勢が高く評価された。

せんだい GREEN アクションアワードで表彰されることについて、常務取締役 國分由明さんは「まさかこういったアワードで表彰されるとは思いませんでした。大変嬉しく思います」と笑顔を見せる。

元々電力消費量などのデータは取っていたが、照明を LED 化することをきっかけに温室効果ガス削減アクションプログラムに参加することに。ISO を利用したシステムも元々導入しており、電力の消費量の見える化なども行っていたため、本プログラムに参加する上でも気負い等はなかったという。

省エネや CO2 削減等に関して意識が高いのは國分さんだけではなく、「従業員にも省エネ意識が根付いていた」とのこと。自身が率先して指導しながら、従業員も無理なく行動できる部分から取り組みをスタートした。

本プログラムへ参加してからは、「電気のスイッチにシールを貼って使うときだけつけるよう意識をつける、お昼休みはパソコンのディスプレイの電源は消しておく」など細かい部分まで従業員含め徹底して省エネへの意識を高めた。



自動車整備に使用する工具の充電式への切り替えや稼働時間の短縮にも取り組んでいる

今後車両の EV 化が進んでいくことが予想されるが、自動車を整備する設備の EV 化や効率的な使用にも取り組んでいきたいとのこと。特に電力消費の大きいコンプレッサなどは 3 か月ごとに定期点検をしており、さらに充電式電動工具への切り替えや稼働時間の短縮などを進めている。機器の稼働時間の短縮においては、若手への技術伝承にも注力している。

さらに現在はゴミの排出量を減らすことを目標として、ゴミ袋の数をカウントして「見える化」といった取り組みも行っているそう。地に足のついた取り組みで、今後も環境に配慮した事業活動を目指す。